

東京iCDC専門家ボードで 学生寮・部活動で 「集団感染を防ぐためのチェックリスト」を作成

目的

大学の学生寮や部活動における集団感染（クラスター感染）を防ぐため、感染予防策のポイント等を普及啓発するため

作成

東京iCDC 感染制御チーム

構成

「管理監督者」と「学生」の対象者別に作成

学生寮・部活動における主な感染対策のポイント

管理 監督者 向け

- **感染発生時の連絡・情報共有体制の構築**
⇒ 連絡体制が不明確だと状況把握が遅れ、迅速に対応できない可能性
- **感染発生時の役割や対応方針の明確化**
⇒ 責任者を決めて情報の一元管理により円滑な対応が可能に
- **日々の健康管理の徹底**
⇒ 健康管理担当者を決め情報の集約と報告のルール作りが重要
- **相談体制の構築**
⇒ 一人で抱え込み、受診や検査などの行動が遅れる可能性
- **最新の情報に基づく感染対策を**
⇒ 学生が適切な予防行動をとれるよう最新の情報を確認

学生 向け

(学生寮)

- **相部屋の場合や、共有スペースを使用する際は、寮内でもマスクを着用**
- 利用時間が重なりやすい**食堂や風呂を入れ替え制**にしたり、脱衣所で会話しないよう注意喚起ポスターを掲示するなど、感染リスクを減らすための工夫を
- **部屋の換気を徹底するとともに、空気が流れができるように部屋の整理整頓を**
- **手指消毒剤は、設置期間と残量から「使用頻度」を把握し、あまり使われていない場合には設置場所を変更するなど、「使用」が徹底されるような工夫を**

(部活動)

- **休憩・ミーティング・帰宅時などは、マスク着用を徹底**
- 給水・食事など**マスクを外す場面では、会話を控える**
- バス移動の際は、車内での感染対策を徹底するとともに、人同士の距離を確保

管理監督者向け (寮長・教職員・監督コーチ等)

新型コロナウイルス感染症 学生寮・部活動で集団感染を防ぐために

管理監督者（寮長・教職員・監督コーチ等）のみなさまへ

学生寮や部活動は、感染拡大のリスクが高く、これまでも多くの集団感染が発生しています。集団感染を防ぐためには、日々の感染予防策の徹底とともに、「感染者の早期把握」、「感染拡大防止策を迅速に講じること」が重要です。あらかじめ「責任者は誰か」「予防の体制」「発生したらどうするか」等、役割やルールを決めるなど、組織的に取り組むことが、感染発生時の迅速な対応につながります。

集団感染を防ぐ5つのポイント

① 感染発生時の連絡・情報共有体制の構築

- 陽性者（濃厚接触者）・体調不良者が発生した時に、誰が誰に連絡するか決まっていますか？（大学へも陽性者等の情報を共有していますか？）
- 連絡体制は、学生に共有されていますか？



【POINT】連絡体制が不明確だと、大学としての状況把握が遅れ、組織的かつ迅速な対応ができない可能性があります。また、管理監督者が不在の場合などにも備え、学生間で連絡体制を共有しておくことも重要です。

② 感染発生時の役割や対応方針の明確化

- 陽性者が発生した時に、誰が何を対応するか決まっていますか？
- 事前に、陽性者発生時の部活動継続・大会参加等の方針を決めていますか？

【POINT】事前に役割分担を明確にしておくことが迅速な初期対応につながります。特に責任者を決めて、その人に情報を一元化することで、保健所や大学とのやりとりを円滑に行うことができます。また、部活動では活動の継続・大会参加方針、学生寮では陽性者を速やかに宿泊施設や寮内の個室等に移す準備など、対応方針・フローの整備・ハード面の備えを事前に検討しておく、集団感染を防ぐことに有効です。

表

③ 日々の健康管理の徹底

- 学生の日々の健康チェックを行っていますか？誰が行うか決まっていますか？

【POINT】学生が自分の健康チェックを行っても、その情報を集約しないと、有症状者の把握が遅れてしまいます。寮長やマネージャーなど、健康管理担当者を決め、担当者に情報が集約される体制を整備すること、また、「〇〇度以上の発熱は、教員へ報告」などのルール作りが重要です。

④ 相談体制の構築

- 学生が健康相談のできる窓口はありますか？

【POINT】学生が体調不良時に、誰に相談すればよいかわからないと、一人で抱え込み、病院受診や検査などの行動が遅れる可能性があり、早期に感染を把握することが難しくなります。



⑤ 最新の情報に基づく感染対策を

- 常に最新の情報を得て、適切な感染予防対策を行っていますか？

【POINT】管理監督者が、誤った感染予防対策や知識を学生に提供してしまうと、学生が適切な予防行動をとれなくなる恐れがあります。自治体や競技団体等の最新の情報を確認しましょう。



ワクチン接種を検討しましょう

感染や感染後の重症化を防ぐために、ワクチン接種を検討しましょう（2回接種済の方は、3回目以降のワクチン接種も検討しましょう）



東京都は、新型コロナワクチン接種を進めるため、「TOKYO ワクシヨン」を展開し、ワクチンの正しい知識や接種方法等の普及啓発と、接種記録を登録した方への特典提供を実施しています。詳細は公式HPをご覧ください →



令和4年1月発行

監修：東京ICDC専門家ボード会長 作成：東京ICDC専門家ボード感染制御チーム

編集・発行：東京都福祉保健局感染症対策部計画課 03(5321)1111（郵庁代表）

裏

学生向け (学生寮、部活動)

新型コロナウイルス感染症 学生寮・部活動で集団感染を防ぐために

学生のみなさまへ

学生寮や部活動は、感染拡大のリスクが高く、これまでも多くの集団感染が発生しています。日々の感染予防対策を徹底することでリスクを減らすことができますが、ポイントをおさえないと、有効な対策とならない場合があります。以下のポイントを踏まえて、日々の対策を振り返ってみましょう。

「学生寮」の感染対策ポイント

- 寮内でマスクを着用していますか？

【POINT】相部屋の場合、共有スペースを使用する際は、マスクを着用しましょう。マスク以外にも、利用時間が重なりやすい食堂や風呂を入れ替え制にしたり、脱衣所で会話しないよう注意喚起ポスターを掲示するなどの工夫を行っている好事例もありました。

- 部屋の換気を行っていますか？

- 部屋が整理されていて、窓やドア周辺に
空気の通り道が確保されていますか？

【POINT】窓の前に荷物が置かれて、窓が開けられない・空気が通らないなどの事例がみられました。換気の徹底とともに、部屋の整理をいまいちど検討してみましょう。
(東京都では「換気のポイント」をまとめて紹介しています→)

- 手指消毒薬は適切な場所（動線上、目につく場所）に設置
していますか？

- 手指消毒薬の残量確認やポンプの清掃を定期的
に行っていますか？

【POINT】手指消毒薬は、設置期間と残量から「使用頻度」を把握し、あまり使われていない場合には、より目につく設置場所へ変更するなど、「設置」ではなく、「使用」が徹底されるように取り組むことが大切です。また、手指消毒薬には保湿成分を含む製品もあり、飛び散った消毒薬に埃が付着し汚染される場合があるため、定期的にポンプを清掃することが望ましいです。

「部活動」の感染対策ポイント

- 共用のトレーニング機材や物品を、使うたびに
適切な方法で消毒していますか？

【POINT】例えば、次亜塩素酸ナトリウムは、紫外線に当たると分解されてしまうため、遮光性のある容器に入れること。期間が経つと効果が低くなるため、適宜入れ替えて使用することが必要です。(その他は、各競技団体から出ている感染対策のガイドラインなども参考にしましょう。)

- 練習中以外の場面で、マスクをつけていますか？

- 給水、食事の際に会話をしていませんか？

- ミーティングは、人との距離や換気に気をつけて
短時間で行っていますか？

【POINT】練習中の小休憩時や部活動の帰りにマスクを外して、会話をしていたケースがあります。給水・食事などマスクを外す場面での会話は控えましょう。ミーティングを行う際も、基本的な感染対策を行った上で、なるべく短時間で行うようにしましょう。

- 練習場所に手指消毒薬や手洗いできる環境はありますか？

- 送迎バスを利用する場合も、マスク着用、換気に留意して
いますか？

【POINT】バス移動の際も、車内でのマスク着用・換気を徹底し、人同士の距離を確保することで、リスクが低減します。

ワクチン接種を検討しましょう

感染や感染後の重症化を防ぐために、**ワクチン接種を検討しましょう**

(2回接種済の方は、3回目以降のワクチン接種も検討しましょう)



ワクチンを接種したら、アプリに登録・利用しましょう！

ワクチン接種記録を登録すると、様々な特典が受けられます。
特典の内容や登録はこちらから →



令和4年1月発行

監修：東京ICDC専門家ボード座長 作成：東京ICDC専門家ボード感染制御チーム

編集・発行：東京都福祉保健局感染症対策部計画課 03(5321)1111 (郵行代表)